

令和元年度 第1回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和元年度 第1回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和元年6月7日 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会 場	安曇野市豊科交流学習センター 学習室1
4	出席者	三澤会長、別府副会長、濱野委員、初谷委員、田守委員、古川委員、樋口委員、小田委員
5	市側出席者	西村教育部長、那須野文化課長、遠藤豊科図書館長、金子三郷図書館長、百瀬堀金図書館長、伊藤明科図書館長、高嶋中央図書館長、奈良澤係長
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	記者 1 人
8	会議概要作成年月日	令和元年6月13日

○会議の概要

- 1 開会 (那須野課長)
- 2 あいさつ (三澤会長・西村教育部長)
- 3 協議・説明
 - (1) 平成30年度安曇野市図書館事業報告について
 - (2) 非常勤職員の実情について
- 4 その他

3 協議・説明概要

- (1) 平成30年度安曇野市図書館事業報告について

各図書館長より説明

議 長 それではご質問等ある方は、お出しいただきたい。

委 員 今回の協議会では、平成30年度の事業報告をし、前回の協議会では、2019年度の事業計画ということであり、事業のPDCAサイクルを考えると、年度末に予測も含め事業をまとめて、次年度の計画に生かしていくということができないか。

次に、事業報告の蔵書数が増加している説明では、三郷図書館と堀金図書館が、まだ蔵書数を増やしている段階にあるということを記載した方が分かりやすいのではないか。また、今後のサービスの説明の中で、ソフト面の充実という部分があったが、新年度の計画でどの部分がそれにあたるのか分かりやすくした方が良いのではないか。

議 長 関連してあれば、お出しいただきたい。

委 員 協議会は会議の場であるので、資料は事前送付されていて、委員は予め資料を読んでいるこ

とを前提に、質問や提案の時間とすればどうか。資料の中にこんなところをこんなふうにしたいなど書き込んでもらえば、協議の場となり有効な時間となるのではないか。

事務局 事業報告がありそれを事業計画に反映していくという流れの件であるが、市では予算を組んでいく時期が9月から10月頃に始まっていく関係で、新年度の事業計画をその時期に立てていく必要があり、事業報告でいただいたご意見等は次年度ではなく、その次の年度で反映させていくことになる。いただいたご意見が無駄になることは無いので、ご理解をいただきたい。

蔵書数の説明では、蔵書計画の中で、開館したばかりの三郷図書館と堀金図書館の充実を図っている旨の記載が不足していた。

ソフト面のサービスの充実については、セカンドブックがある。それからPRの面では市の催し物などに、おでかけとしょかんということで参加をしていく。また、学校連携も深めていきたい。

この会を様々なやり取りの場として有効に時間を使い、利用者の立場からのご意見等をいただく機会としていきたい。

委員 年度末に、予測も含めて事業報告をまとめることができないのは良く分からない。事業報告をまとめて次年度に反映していく流れを作れないか。

議長 組織が大きくなれば、タイムラグが生じたり、新年度が始まる前に事業計画が承認されている必要があるというような都合があるのではないか。

委員 バラバラにやってきた事業を最後にまとめるのではなく、共通の入れ物を用意しておいて、そこへ各館が入れていくようにすれば、まとめが早いのではないか。せっかく苦勞して作るデータが生きるようにした方が良くと思う。他に仕事が増える中で、できるだけ簡単にまとめることができるような仕掛けをつくるのはどうか。

事務局 事務局側からの都合をお話したい。この委員会は年度任期になっているので、委員の切り替え時などは新しい委員に対応する必要がある。また、年度末年度初めは、支払処理や新年度の契約事務、出納整理期間など、事務処理的に忙しい時期になっており、なかなかこの時期にまとめを行っていくのは厳しい状況にあるので、ご理解をいただきたい。

議長 事業報告については以上でよろしいか。

それでは次に、非常勤職員の実情について説明をお願いしたい。

(2) 非常勤職員の実情について

議長 事務局より周辺の状況など併せて説明をお願いしたい。

事務局より説明。

議 長 説明をいただいたが、質問等ありますか。

委 員 来年から制度が変わるとのことだが内容を教えてほしい。

事務局 会計年度任用職員という説明をさせていただいたが、現時点で具体的な内容は不明である。

事務局 会計年度任用職員については、国で制度設計ができているが、非常勤職員を三段階ほどあるものに格付けしていくかというのが、今後示されてくるところである。

議 長 この件については以上でよろしいか。

国の方から示されている制度なので、議題としては以上にしたい。

議 長 次に、委員から文書配布があり、提案があるという事なので、簡潔に説明をお願いしたい。

委 員 図書館司書の身分保障について、何らかの改善ができないかと思提案するものである。

資料にあるように、給与が低額であるということもあるが、なんといっても雇用が1年契約というのが問題である。そこでお聞きしたいが、最長雇用が7年ということで聞いているが事実か。

事務局 市の非常勤職員への採用希望が多いという事もあり、現状は5年というのが一つの目途になっている。但し、専門職の場合には後任が見つからないということもあり、7年を一つ目安にしている。ただ、後任が見つからない場合には、目安を超えた雇用も実際にはある。

委 員 目安を超えた雇用があっても、後任が見つければそこで雇止めということになると思う。新しい制度ではどうなるのか。

事務局 雇止めは無くなると聞いている。

委 員 それならば良いが、1年契約では不安ではないので、複数年の雇用を考えてもらいたい。来年の制度改正で改善されるように要望したいと思うが、いかがか。

事務局 1年雇用が来年からの制度で変わるのかは現在は不明だが、来年の雇用については、早い段階で話をさせていただくようになると思う。

事務局 配布していただいた資料で指摘されている事項があるが、市では非常勤職員の雇用に定められている条件を示して、お勤めをいただいているところである。司書の正規職員化の問題については、市の職員の定数というものが定められており、また、職員適正化計画の中で職員数の見直しが進められているので、厳しい状況にある。

委 員 この2番目の協議事項については、私たち委員は労働問題等の専門家ではないので、協議内容の比率としては1番目の協議事項の比率を高くするというのはいかがか。

議 長 この事項については、協議会として司書の待遇改善をお願いすることもあるかもしれないが、この内容を継続して協議していくことに効果があるのかどうかは疑問である。

委 員 この場では、司書が安心して一生懸命に事業に取り組めるような、事業面での協力をしていく

方が良いのではないか。

事務局 いただいたご意見は、今後の図書館運営の充実につなげていきたい。

委員 非常勤職員はその仕事内容に対して、けして恵まれた状況に無いので、充実した図書館運営をしていくためにも、その基礎となる司書の待遇を改善してほしいという要望として聞いていただきたい。

議長 今の要望は、事務局へお伝えしたということでお願いしたい。

以上で本日予定された議題は終了したが、他に委員から何かありますか。

委員 利用者の立場から話をさせていただきたい。多岐にわたる事業をしていただいてありがたく思う。特に、堀金図書館の堀金地区の成り立ちを知るや三郷図書館の郷土講座のような地元を知る講座は、子どもたちが地域に興味を持ってくれるいい機会だと思う。ボランティア精神の醸成は、このような機会に地域に愛着を感じるところから始まるのではないかと考えているので、今後も事業を継続してほしい。

もう一つは、前回の報告の時に小さい子どもの事業が多いという、マイナス的な意見が出されていたが、お母さんたちが図書館に集まることにより、育児の悩みなどの情報交換や交流の場になりいいことだと思うので、幼児向けの事業など開催をしていただきたい。

それから、利用者の方からデータベースの利用が分かりにくい、書籍が書棚のどこに置かれているか調べにくいというような意見をいただいた。また、各館のイベントが広報紙などに載っているが、全館のイベントを一覧で見られる場所を、市のホームページに作ってほしい。

議長 この件については、事務局で検討いただくということでお願いしたい。

委員 別の件でお願いしたい。安曇野市は合併して広い地域になり、それぞれの地域に図書館ができたことは素晴らしいことだと思うが、地域には独自性があるので、それぞれの地域の図書館が地域に根差した独自性のある自由な活動ができればいい。

事務局 公民館も限られた職員で独自性を持った活動をしているが、図書館でまず必要なのは資料の貸し出しやレファレンスの充実という部分での質の均質化だと考えている。各館の講座については、それぞれ独自性を持った企画をしていきたい。

委員 次回の会議内容が分かれば教えていただきたい。

事務局 県の図書館大会について報告させていただきたいと考えているが、新年度の事業計画についてもご意見をいただきたい。それから、子ども読書活動推進計画についても少し触れさせていただきたい。開催時期は、秋頃になる予定である。

議長 以上で協議を終了させていただく。

以上